平成25年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年8月2日

上場会社名　オプテックス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6914　URL　http://www.optex.co.jp
代表者　(役職名) 取締役会長兼代表取締役社長　(氏名) 小林　徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長　(氏名) 東　晃　TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日　平成25年8月9日　配当支払開始予定日　平成25年9月3日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第2四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第2四半期	11,128	9.3	994	85.8	1,261	94.6	732	228.5
24年12月期第2四半期	10,183	9.2	535	△42.5	648	△38.9	222	△61.8

(注)包括利益　25年12月期第2四半期　1,523百万円　(286.4%)　24年12月期第2四半期　394百万円　(△47.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第2四半期	44.25	―
24年12月期第2四半期	13.47	13.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第2四半期	25,619	20,769	76.3
24年12月期	23,664	19,532	77.5

(参考) 自己資本　25年12月期第2四半期　19,547百万円　24年12月期　18,331百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	―	15.00	―	15.00	30.00
25年12月期	―	15.00			
25年12月期(予想)			―	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年 1月 1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	15.9	2,300	64.5	2,600	54.7	1,600	93.8	96.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 有
② ①以外の会計方針の変更	: 無
③ 会計上の見積りの変更	: 無
④ 修正再表示	: 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年12月期2Q	16,984,596 株	24年12月期	16,984,596 株
② 期末自己株式数	25年12月期2Q	434,062 株	24年12月期	433,232 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年12月期2Q	16,551,047 株	24年12月期2Q	16,551,479 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、P.3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における経済情勢は、国内においては円安等に伴い輸出環境の一部に持ち直しの動きが見られ、経済政策への期待感を背景に株価が上昇するなど、緩やかながらも景気は回復傾向となりました。

一方、海外におきましては欧州債務危機の長期化や新興国への輸出の減少をはじめとする世界経済の減速が景気を押し下げるなど、先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループを取り巻く環境におきましては、欧州景気の低迷、中国の景気減速懸念などから輸出は全体として厳しい状況にある中、為替については円高が是正され米ドルや欧州通貨に対して円安水準となりました。当第２四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルで前年同期の79.8円に比べ15.8円（19.9%）円安の95.6円、対ポンドでは同125.7円に比べ21.7円（17.2%）円安の147.4円、対ユーロでは同103.5円に比べ22.0円（21.3%）円安の125.5円となりました。

このような状況の下、当社グループは新製品の開発と投入、大型重要施設への展開及び大手顧客シェア拡大による既存事業の強化を図ってまいりました。加えて、ＬＥＤ照明を活用した新たなアプリケーションの開拓や相対的に高い成長が見込まれる新興市場開拓への布石など新たな事業分野への活動を推進してまいりました。

これらの結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、111億28百万円と前年同期に比べ9.3%の増収となりました。また、利益面につきましては、相対的に収益性の高い防犯用屋外センサの売上比率の増加により原価率が低下し、営業利益は９億94百万円（前年同期比85.8%増）、経常利益は12億61百万円（前年同期比94.6%増）、四半期純利益は７億32百万円（前年同期比228.5%増）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高77億65百万円（前年同期比13.0%増）、営業利益６億43百万円（前年同期比78.5%増）となりました。

防犯関連につきましては、売上高56億94百万円（前年同期比16.5%増）となりました。欧州向けに世界規模で高いシェアを有する屋外警戒用センサの販売が堅調に推移いたしました。国内におきましては、大型重要施設向け屋外警戒用センサの販売が順調に推移し前年実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、北米向けの売上は順調に推移したものの、国内の売上が伸び悩み、売上高18億14百万円（前年同期比4.8%増）となりました。

② ＦＡ事業

ＦＡ事業は、海外におきましては、欧州での金融不安の影響や中国における景気減速による設備投資抑制の影響を受け、需要は伸び悩みました。一方、国内におきましては、物流、工作機械、自動車関連業界で設備投資需要の持ち直しが見られました。その結果、売上高21億66百万円（前年同期比2.4%増）、営業利益１億40百万円（前年同期比9.4%増）となりました。

③ 生産受託事業

生産受託事業は、受託製品数量が減少したことにより減収となり、売上高３億99百万円（前年同期比20.1%減）、営業利益32百万円（前年同期比22.8%増）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における資産合計は256億19百万円となり、前連結会計年度末と比べ19億55百万円増加しました。これは主に現金及び預金の増加等により流動資産が12億86百万円、投資有価証券の増加等により固定資産が６億68百万円それぞれ増加したことによるものであります。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における負債合計は48億49百万円となり、前連結会計年度末と比べ７億18百万円増加しました。これは主に未払法人税の増加等により流動負債が６億77百万円増加したことによるものであります。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は207億69百万円となり、前連結会計年度末と比べ12億36百万円増加しました。これは配当金の支払があったものの、当期純利益の増加により利益剰余金が４億84百万円増加したことに加え、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が７億33百万円増加したことによるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末と比較して４億６百万円増加し、73億18百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況と主な要因は次の通りであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は11億75百万円（前年同期は７億46百万円の獲得）となりました。これは主に法人税等の支払（２億85百万円）による資金の減少があったものの、税金等調整前四半期純利益の確保（12億76百万円）により資金が増加したものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は８億72百万円（前年同期は11億４百万円の使用）となりました。これは主に資金運用に伴う有価証券及び投資有価証券の取得・売却（差引支出５億69百万円）及び有形固定資産の取得・売却（差引支出１億96百万円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は２億62百万円（前年同期は19百万円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額（２億48百万円）によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成25年７月25日に公表いたしましたとおり、売上高は240億円（前年度比15.9%増）を見込んでおります。また、収益性向上にも継続的に取り組み、営業利益は23億円（前年度比64.5%増）、経常利益26億円（前年度比54.7%増）、当期純利益16億円（前年度比93.8%増）を見込んでおります。なお、予想にあたりましては、当連結会計年度下半期（平成25年７月１日～平成25年12月31日）の平均為替レートを対米ドル95円、対ユーロ125円にて算定いたしております。

詳細は平成25年７月25日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年１月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる、当第２四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,912	7,318
受取手形及び売掛金	4,389	4,638
有価証券	851	998
商品及び製品	1,818	2,003
仕掛品	60	72
原材料及び貯蔵品	1,077	1,291
繰延税金資産	381	444
その他	460	478
貸倒引当金	△19	△25
流動資産合計	15,933	17,220
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,137	1,114
機械装置及び運搬具（純額）	324	358
工具、器具及び備品（純額）	277	275
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	21	37
有形固定資産合計	2,963	2,990
無形固定資産		
のれん	828	821
その他	504	529
無形固定資産合計	1,332	1,351
投資その他の資産		
投資有価証券	2,518	3,183
繰延税金資産	574	524
その他	387	396
貸倒引当金	△46	△46
投資その他の資産合計	3,434	4,057
固定資産合計	7,730	8,399
資産合計	23,664	25,619

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年12月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年６月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,031	1,224
短期借入金	483	553
未払法人税等	265	545
繰延税金負債	11	10
賞与引当金	82	79
役員賞与引当金	－	25
その他	839	952
流動負債合計	2,714	3,392
固定負債		
繰延税金負債	94	97
再評価に係る繰延税金負債	6	6
退職給付引当金	835	858
役員退職慰労引当金	465	480
その他	15	14
固定負債合計	1,416	1,457
負債合計	4,131	4,849
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	13,184	13,668
自己株式	△538	△539
株主資本合計	19,097	19,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26	109
土地再評価差額金	11	11
為替換算調整勘定	△803	△154
その他の包括利益累計額合計	△766	△33
新株予約権	9	14
少数株主持分	1,191	1,208
純資産合計	19,532	20,769
負債純資産合計	23,664	25,619

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
売上高	10,183	11,128
売上原価	5,215	5,286
売上総利益	4,967	5,842
販売費及び一般管理費	4,432	4,848
営業利益	535	994
営業外収益		
受取利息	28	35
持分法による投資利益	3	1
為替差益	35	178
投資事業組合運用益	－	13
受取賃貸料	9	10
保険返戻金	29	0
その他	20	40
営業外収益合計	127	280
営業外費用		
支払利息	1	1
投資事業組合運用損	1	－
賃貸費用	9	10
その他	2	1
営業外費用合計	14	13
経常利益	648	1,261
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	4	15
特別利益合計	4	16
特別損失		
固定資産除却損	4	0
持分変動損失	0	－
減損損失	－	1
のれん減損損失	41	－
特別損失合計	46	2
税金等調整前四半期純利益	606	1,276
法人税、住民税及び事業税	276	560
法人税等調整額	70	△54
法人税等合計	347	506
少数株主損益調整前四半期純利益	259	770
少数株主利益	36	37
四半期純利益	222	732

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	259	770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	29	103
為替換算調整勘定	105	649
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	0
その他の包括利益合計	134	753
四半期包括利益	394	1,523
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	350	1,465
少数株主に係る四半期包括利益	43	57

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年１月１日 至　平成25年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	606	1,276
減価償却費	256	236
のれん償却額	108	110
退職給付引当金の増減額（△は減少）	13	22
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	2	15
貸倒引当金の増減額（△は減少）	28	3
賞与引当金の増減額（△は減少）	20	△3
受取利息及び受取配当金	△37	△63
支払利息	1	1
為替差損益（△は益）	11	△25
持分法による投資損益（△は益）	△3	△1
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	△4	△15
固定資産除売却損益（△は益）	4	△1
減損損失	－	1
のれん減損損失	41	－
売上債権の増減額（△は増加）	△133	27
たな卸資産の増減額（△は増加）	△140	△214
仕入債務の増減額（△は減少）	143	△78
その他	201	119
小計	1,121	1,411
利息及び配当金の受取額	39	52
利息の支払額	△4	△3
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△409	△285
営業活動によるキャッシュ・フロー	746	1,175
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△449	△697
有価証券の売却及び償還による収入	800	801
投資有価証券の取得による支出	△257	△734
投資有価証券の売却による収入	60	61
有形固定資産の取得による支出	△277	△202
有形固定資産の売却による収入	0	6
無形固定資産の取得による支出	△32	△41
子会社株式の取得による支出	△67	△65
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△885	－
貸付けによる支出	△7	△7
貸付金の回収による収入	10	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,104	△872
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	260	10
少数株主からの払込みによる収入	2	－
配当金の支払額	△255	△248
少数株主への配当金の支払額	△27	△22
その他	△0	△1
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19	△262
現金及び現金同等物に係る換算差額	35	365
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△342	406
現金及び現金同等物の期首残高	6,523	6,912
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,180	7,318

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
① 前第２四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年６月30日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	センシング事業	ＦＡ事業	生産受託事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	6,874	2,115	500	9,489	693	10,183	－	10,183
セグメント間の内部売上高又は振替高	10	－	1,346	1,356	42	1,398	△1,398	－
計	6,884	2,115	1,846	10,845	736	11,582	△1,398	10,183
セグメント利益	360	128	26	515	26	542	△6	535

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△６百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
「その他事業」セグメントにおいて、株式会社ジーニックに関するのれんについて、株式取得時に事業計画で想定していた収益が見込めなくなったことから全額減損損失としております。なお、当該事象によるのれんの減損額は41百万円であります。

② 当第２四半期連結累計期間（自　平成25年１月１日　至　平成25年６月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	センシング事業	ＦＡ事業	生産受託事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,765	2,166	399	10,332	796	11,128	－	11,128
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	－	1,663	1,680	30	1,710	△1,710	－
計	7,782	2,166	2,062	12,012	827	12,839	△1,710	11,128
セグメント利益	643	140	32	816	178	995	△0	994

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。
２．セグメント利益の調整額△０百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
３．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。